

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日： 2024 年 5 月 30 日
研究課題名： 死亡時画像診断における頸椎後屈撮影の有用性
研究期間：倫理審査承認後～西暦 2026 年 3 月 31 日
研究対象： 剖検センターで検案前の遺体（高度腐敗、焼死、小児を除いた例）
対象材料 ☐ 病理材料（対象臓器名 ） ☐ 生検材料（対象臓器名 ） ☐ 血液材料 ☐ 遊離細胞 ☐ その他（ ） 上記材料の対象期間 西暦 年月～ 年月
意義・目的： 死亡時画像診断は死因を究明するために全国的に普及しています。CT が最も多く使用されていますが、脊髄はビームハードニングにより評価が難しくなっています。そのため、不安定性がある頸椎損傷（撮影時に整復されている例）は見逃される危険性が高い状況にあります。 頸椎を前屈、後屈させて撮影を行うことで、椎体の骨折や不安定性の診断精度を向上させることが可能であると考えます。
方法： 遺族から同意を得た遺体を対象としています。検案前の遺体を撮影する際に、医師立ち会いの元で頸椎を前屈、後屈させた撮影を追加します。損傷が疑わしい場合は可能であれば MRI を用いて脊髄の評価を行います。剖検センターで行われている撮影業務は ID、氏名ともに匿名化されています。解析に使用するデータは連結不可能な匿名化処理を行います。学会などで報告を行う場合は院内の運用ルールに添い、個人情報情報を消去した画像を使用します。剖検例がある場合は画像診断と併せて脊髄損傷の程度を評価します。この研究では、医療情報や個人情報の機密保持を確実にするために臨床研究データに固有の、個人を特定できない番号が割り当てられます。なお、この研究についてご質問がある方は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 放射線技術科 齋藤創（代表番号 029-851-3511）